

## 誰でも楽しめる曲ばかり

土笛と風オカリ  
ーナ・ミネルバ  
コンサート

出演者

花田恵子さん(64)

(木目)

5日午後1時半、市生涯学習センター(ミネルバ)で開演。市内七つのオカリナグループが出演する。「いつでも夢を」「赤とんぼ」

「ルーシユの伝言」花の首飾り、ロシア民謡メドレーなど。「なじめの曲ばかり。誰でも楽しめる。ぜひ会場を」

自身はグループ「ふきのとう」と「虹の音オカリーナ」に所属。



ボヤリズムも多彩に表現可能。出演者全員で奏でる鉄道メドレーで、幾重にも音が重なった迫力の演奏を披露する。

フォークの「冬が来る前に」や、NHK連続テレビ小説「ひよっこ」主題歌の「若い広場」などを発表する。

オカリナは奥深い。ソプラノ、アルト、テナー、バスの4種類を組み合わせると優しい音色だけでなく、テン

入場無料。問い合わせは事務局の大倉静子(090-712-3818)。

(近藤哲也)

## 参加型イベント増やした

第11回三井生協ふれあい祭り

実行委員

新久保智貴さん(26)

(宇野)

「参加型イベントを増やした。子どもからお年寄りまで多くの人の足を運んでほしい」。



は、生協商品のカラー、うどんを格安で販売する「うまいもん広場」を設ける。問い合わせは本部(0556-5566)。(正本和臣)

市文化祭書道作品展  
出品者代表  
長崎永子さん(62)

(栗港)

## 見応えがある掛け軸や額

12日午前10時〜午後3時半、レクレセンターと三井生協本部店で開く。

15〜19日、市立図書館・中央公民館ギャラリーで開催。市内の64人が約100点を出品

主会場のレクレセンターでは、初企画の紙飛行機大会をはじめ、玉野総合医療専門学校学生のハンドクラフト体験、ゲームコーナーなどを予定。市の若手男性職員ユニット「T.M.N.4・8」のダンス、詩などが書かれた掛け軸や額。「見応えがあると思う。一点ずつ

## 飲食屋台や多彩ステージ

第2回道の駅みやま公園まつり×たまの雑穀フェスタ

市雑穀生産組合員

万城明夫さん(63)

(北方)

市が特産化を進める雑穀のPRイベント。



午前9時〜午後5時(最終日は午後4時)。

自身は6年ほど前に雑穀栽培を始め、キビ、タカキビ、黒米を手掛ける。「黒米はご飯に混ぜて炊くと赤飯のような色になり、プチプチした食感が楽しめる」

自身は書家の岡林師会書道部の事務局長岡林実さん(090-3377-7529)。

(岡本遥加)

自身は6年ほど前に雑穀栽培を始め、キビ、タカキビ、黒米を手掛ける。「黒米はご飯に混ぜて炊くと赤飯のような色になり、プチプチした食感が楽しめる」

23日午前10時〜午後3時、道の駅みやま公園を会場に、雑穀を使った飲食屋台や多彩なステージを予定す

(岡本遥加)

# 今月の顔

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。